

しりべし経済レポート

Vol.71

(平成26年5月発行)



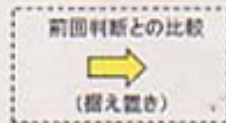
財務省 北海道財務局 小樽出張所

URL <http://hokkaido.mof.go.jp/otaru/index.html>

ご存知ですか？地域を支える財務局 ～財政・金融・国有財産～

1. 【平成26年1月～3月期 総括判断】

管内経済は、持ち直している。



前回(25.10-12期)判断

管内経済は、持ち直している。

2. 【各項目の判断】

	前回(25.10-12期)	前回比較	今回(26.1-3期)
個人消費	持ち直している	➡	持ち直している
観光	前年を大幅に上回る	➡	前年を大幅に上回る
住宅建設	前年を下回る	➡	前年並み
公共工事	前年並み	➡	前年を上回る
生産	例年並みの動き	➡	例年並みの動き
漁業	水揚量、水揚金額ともに前年を下回る	➡	水揚量、水揚金額ともに前年を下回る
貿易	輸出は前年を上回り、輸入は前年を下回る	↘	輸出、輸入ともに前年を下回る
金融	資金需要は低調	➡	資金需要は低調
雇用	改善の動きが続いている	➡	改善の動きが強まっている
企業倒産	件数は同数であったものの、負債総額は前年を下回る	➡	件数、負債総額ともに前年を下回る

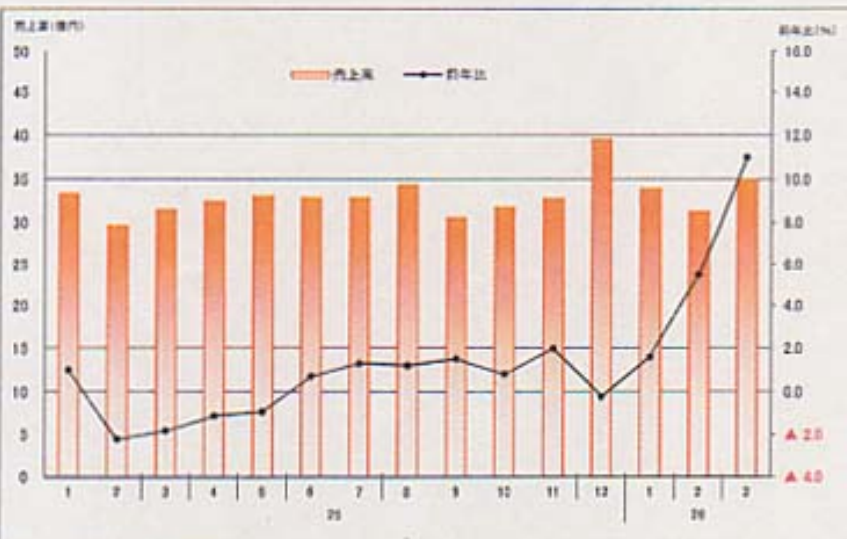
【個人消費】

持ち直している

主要小売店売上高動向（26年1月～3月）をみると、消費税率引上げに伴う駆け込み需要がみられ、飲食料品等が好調であったことから、総体で前年を上回った。

新車登録台数動向（26年1月～3月）をみると、消費税率引上げに伴う駆け込み需要や新車投入効果などから、前年を上回った。

主要小売店売上高



(資料)北海道財務局小売店調査

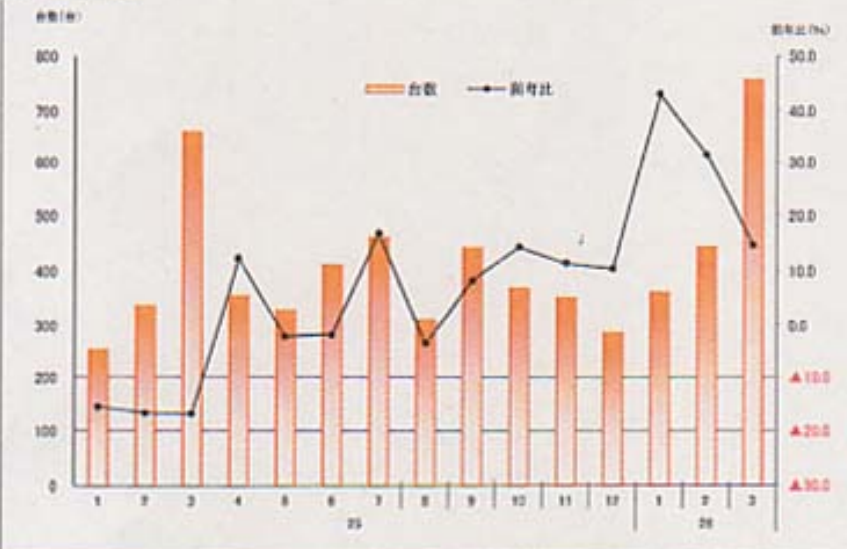
	売上高(百万円)	前年比
23年	39,566	1.8
24年	39,400	▲0.4
25年	39,473	0.2

25. 1～3	9,443	▲1.0
4～6	9,848	▲0.4
7～9	9,776	1.3
10～12	10,407	0.8
26.1～3	10,006	6.0

25年10月	3,173	0.8
11月	3,278	2.0
12月	3,955	▲0.2
26年1月	3,382	1.6
2月	3,128	5.5
3月	3,496	11.0

(注) 季節調整済値

新車登録台数



(資料)北海道財務局小売店調査

	台数(台)	前年比
23年	3,988	▲11.4
24年	4,585	15.0
25年	4,563	▲0.5

25. 1～3	1,250	▲16.4
4～6	1,096	2.3
7～9	1,212	7.9
10～12	1,005	12.2
26.1～3	1,562	25.0

25年10月	368	14.3
11月	351	11.4
12月	286	10.4
26年1月	362	43.1
2月	443	31.5
3月	757	14.7

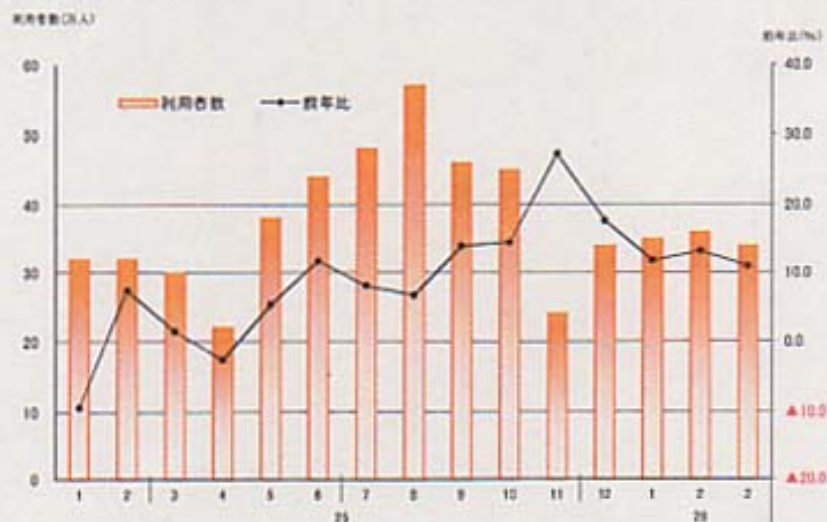
(注) 軽自動車を除く

【観光】

前年を大幅に上回る

主要観光施設の入込客数（26年1月～3月）をみると、引き続き外国人観光客は東南アジアや台湾などを中心に好調であったことから、前年を大幅に上回った。

主要観光施設の利用者数



	利用者数(万人)	前年比
23年	406	▲ 8.8
24年	418	2.8
25年	452	8.2

25. 1~3	94	▲ 0.6
4~6	104	6.1
7~9	150	9.3
10~12	103	18.3
26. 1~3	105	12.0

25年10月	45	14.5
11月	24	27.3
12月	34	17.7
26年1月	35	11.8
2月	36	13.2
3月	34	11.0

(注)25.10~12月期データについては、データ提供元から数値の訂正があり、データ修正済。

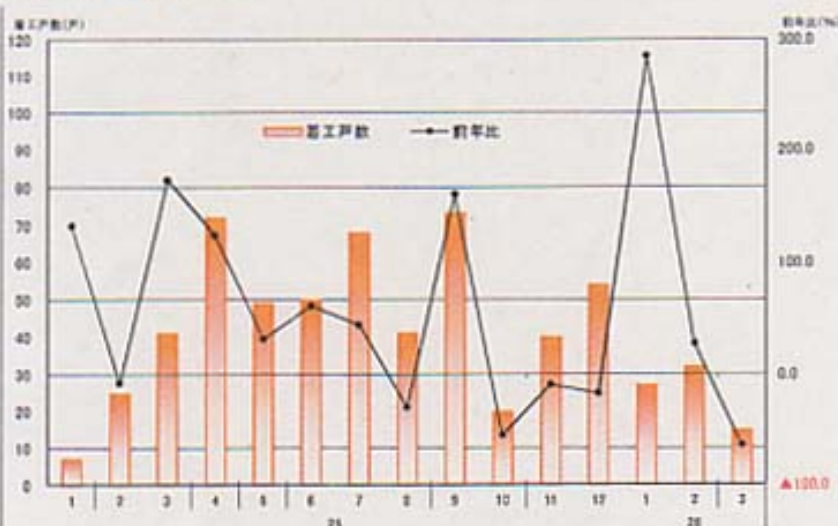
(資料)北海道財務局小樽出張所

【住宅建設】

前年並み

住宅建設動向を新設住宅着工戸数（小樽市・26年1月～3月）でみると、貸家や分譲住宅が前年を下回ったものの、持家は前年を上回ったことから、総体で前年並みとなった。

新設住宅着工戸数(小樽市)



	着工戸数(戸)	前年比
23年	431	38.6
24年	431	0.0
25年	540	25.3

25. 1~3	73	62.2
4~6	171	71.0
7~9	182	36.8
10~12	114	▲ 25.5
26. 1~3	74	1.4

26年10月	20	▲ 54.5
11月	40	▲ 9.1
12月	54	▲ 16.9
26年1月	27	285.7
2月	32	28.0
3月	15	▲ 63.4

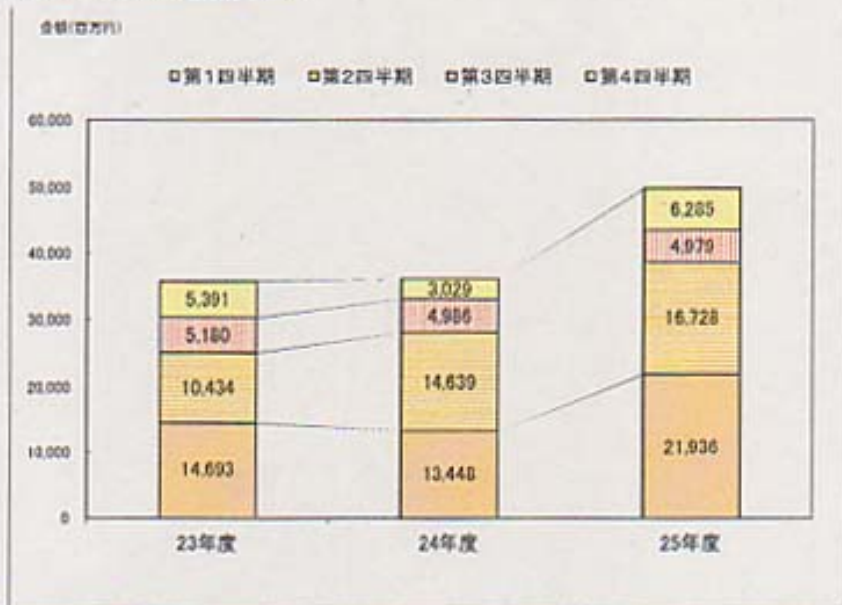
(資料)国土交通省

【公共工事】

前年を上回る

公共工事動向を公共工事前払金保証請負金額（26年1月～3月）で見ると、公共投資の拡大により前年を上回った。

公共工事前払金保証請負金額



(資料)北海道建設業協会提供資料

	金額(百万円)	前年比
23年度	35,705	▲ 13.6
24年度	36,108	1.1
25年度	49,935	38.3

25. 1～3	3,029	▲ 43.8
4～6	21,936	63.1
7～9	16,728	14.3
10～12	4,979	▲ 0.1
26.1～3	6,285	107.5

25年10月	2,244	▲ 19.7
11月	1,550	8.9
12月	1,185	54.5
26年1月	134	▲ 52.6
2月	654	220.6
3月	5,497	116.2
4月	14,493	31.0

(注)各年度の累計については、先資料の計数を記載しており、増減の関係で四半期合計と合致しない。

【生産】

例年並みの動き

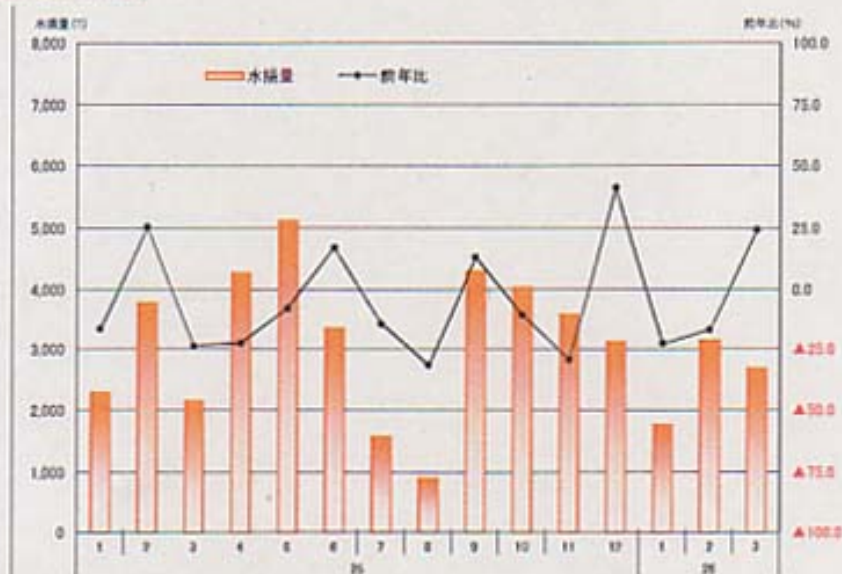
生産動向（26年1月～3月）で見ると、水産加工は、タラコは前年より減少したものの、ミガキニシンは例年並みの動きであった。
生コンは、官需、民需ともに順調に推移した。

【漁業】

水揚量、水揚金額ともに前年を下回る

漁業動向（26年1月～3月）をみると、カレイ・ヒラメ、スケトウダラが増加したものの、ニシン、タラ等が減少したことにより、水揚量、水揚金額ともに前年を下回った。

漁業(水揚量)



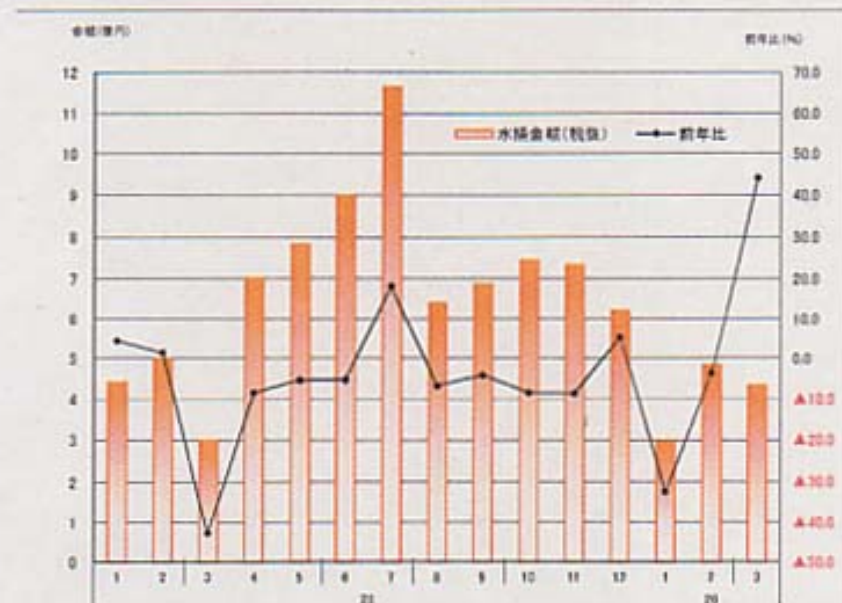
(資料)北海道財務局小樽出漁所

	水揚量(トン)	前年比
23年	45,024	▲ 16.3
24年	41,276	▲ 8.3
25年	38,519	▲ 6.7

25. 1～3	8,221	▲ 3.9
4～6	12,763	▲ 8.5
7～9	6,789	▲ 2.7
10～12	10,746	▲ 8.9
26.1～3	7,586	▲ 7.7

25年10月	4,031	▲ 10.4
11月	3,586	▲ 29.5
12月	3,129	41.1
26年1月	1,765	▲ 22.7
2月	3,153	▲ 16.9
3月	2,668	24.4

漁業(水揚金額)



(資料)北海道財務局小樽出漁所

	水揚金額(百万円)	前年比
23年	9,750	3.3
24年	8,586	▲ 11.9
25年	8,228	▲ 4.2

25. 1～3	1,245	▲ 13.6
4～6	2,388	▲ 6.3
7～9	2,495	4.4
10～12	2,100	▲ 4.8
26.1～3	1,216	▲ 2.3

25年10月	746	▲ 8.5
11月	733	▲ 8.7
12月	622	5.4
26年1月	299	▲ 32.4
2月	484	▲ 3.6
3月	433	44.1

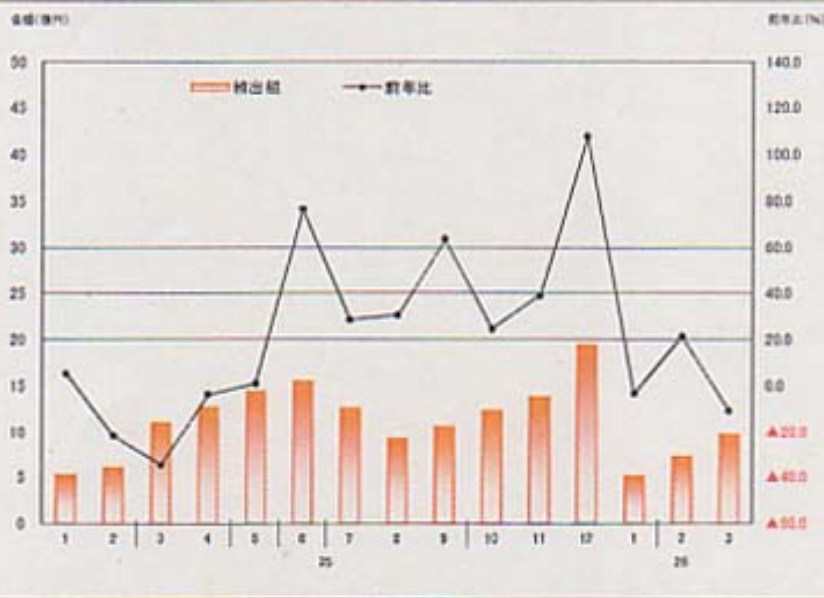
(注)vol.70までは税込表示だったものを、Vol.71より税込表示に改定。

【貿易】

輸出、輸入ともに前年を下回る

貿易動向を輸出入価額（26年1月～3月）で見ると、輸出は、ロシア向け「自動車」が増加したものの、中国向け「再輸出品」が減少し、前年を僅かながら下回った。輸入は、ロシアからの「かに」等が減少したことなどから、前年を下回った。

貿易(輸出:小樽港)



(資料) 函館税関小樽税関支署

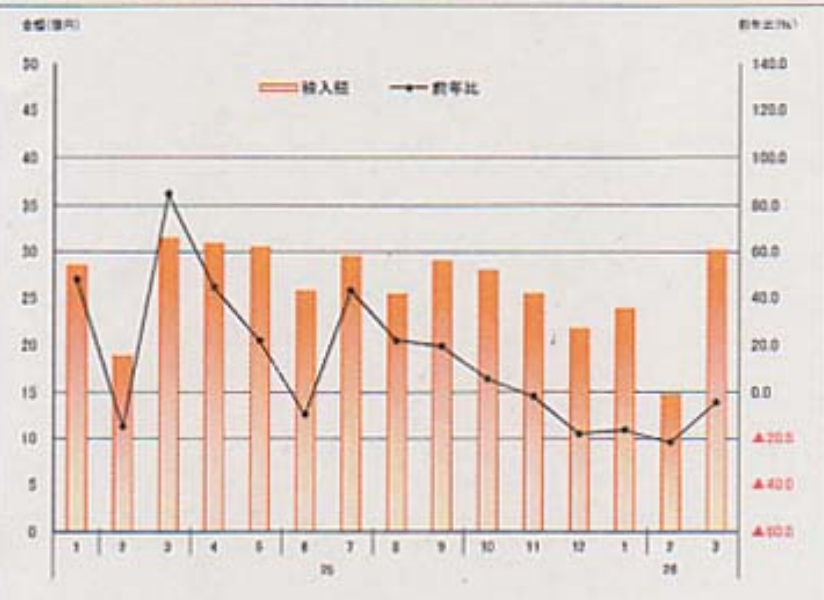
	金額(百万円)	前年比
23年	12,765	2.8
24年	11,814	▲ 7.4
25年	14,272	20.8

25. 1～3	2,225	▲ 24.4
4～6	4,257	17.7
7～9	3,245	38.8
10～12	4,545	55.9
26.1～3	2,215	▲ 0.5

25年10月	1,236	24.6
11月	1,376	38.7
12月	1,933	107.7
26年1月	510	▲ 3.4
2月	726	21.1
3月	979	▲ 10.8

(注) 速報値ベース

貿易(輸入:小樽港)



(資料) 函館税関小樽税関支署

	金額(百万円)	前年比
23年	32,226	32.7
24年	27,712	▲ 14.0
25年	32,433	17.0

25. 1～3	7,870	35.1
4～6	8,701	16.5
7～9	8,368	27.6
10～12	7,495	▲ 4.7
26.1～3	6,861	▲ 12.8

25年10月	2,798	5.6
11月	2,533	▲ 1.7
12月	2,163	▲ 17.9
26年1月	2,379	▲ 16.4
2月	1,470	▲ 21.8
3月	3,011	▲ 4.2

(注) 速報値ベース

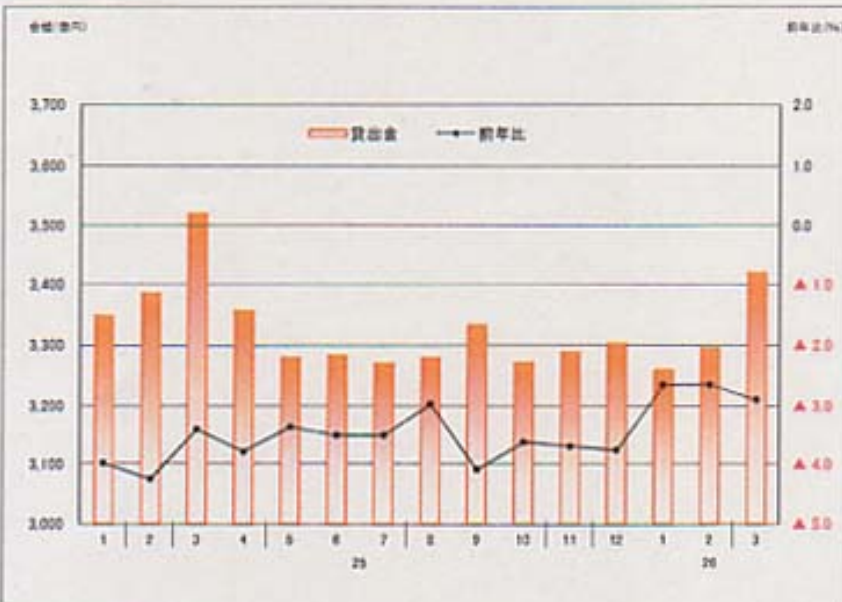
【金融】

資金需要は低調

資金需要動向（26年3月末）をみると、管内金融機関の貸出金残高は、設備資金は前年を上回ったものの、運転資金は低調であり、総体で前年を下回った。

なお、貸出約定平均金利は、前月差で0.052ポイント低下し、1.724%となった。

金融(貸出金)

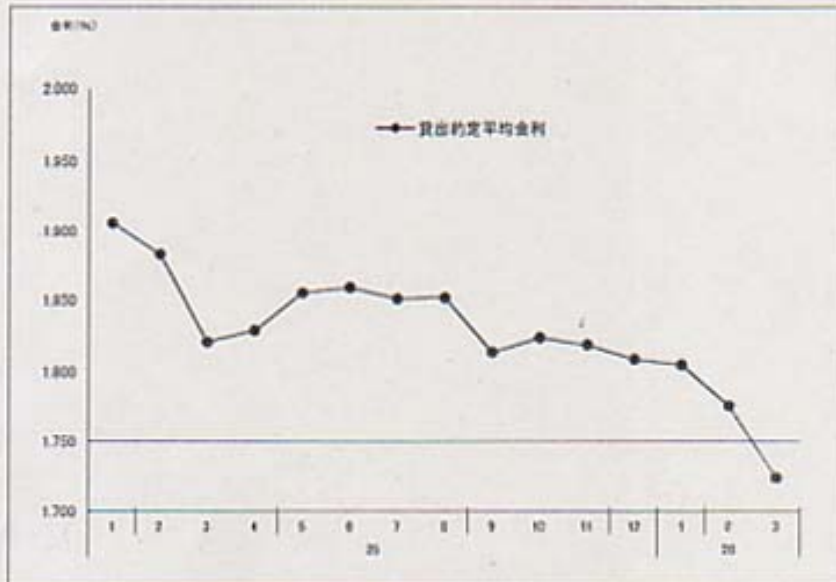


(資料)北海道財務局小冊出稿所

	金額(億円)	前年比
24年3月	3,644	▲ 1.9
25年3月	3,520	▲ 3.4
26年3月	3,419	▲ 2.9

25年10月	3,272	▲ 3.6
11月	3,289	▲ 3.7
12月	3,303	▲ 3.8
26年1月	3,259	▲ 2.6
2月	3,295	▲ 2.6
3月	3,419	▲ 2.9

金融(貸出約定平均金利)



(資料)北海道財務局小冊出稿所

	金利(%)	前年差(Pt)
24年3月	1.911	▲ 0.108
25年3月	1.821	▲ 0.090
26年3月	1.724	▲ 0.097

25年10月	1.824	0.010
11月	1.819	▲ 0.005
12月	1.809	▲ 0.010
26年1月	1.805	▲ 0.004
2月	1.776	▲ 0.029
3月	1.724	▲ 0.052

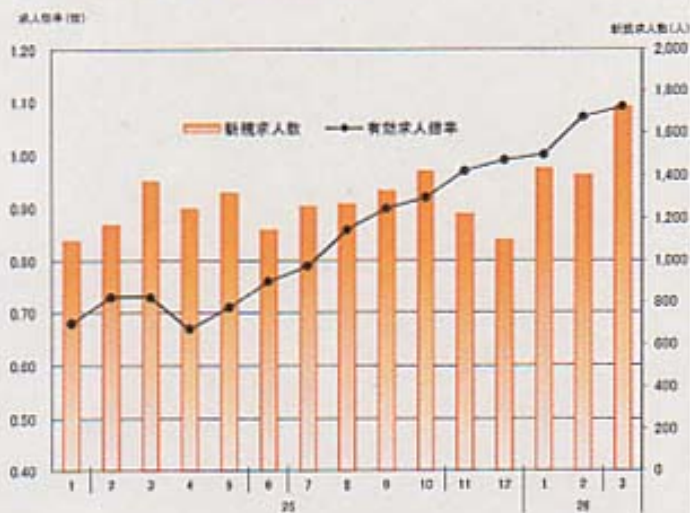
【雇用】

改善の動きが強まっている

雇用動向（26年1月～3月）をみると、有効求人倍率は、求職者数が減少し、求人数が増加したことから、前年を上回った。

新規求人数は、卸売・小売業、宿泊・飲食サービス業、製造業等が増加したことから、前年を上回った。

有効求人倍率(常用・派数値)、新規求人数



(資料)小樽・岩内公共職業安定所

	倍率(倍)	前年差(Pt)	新規求人数	前年比
23年	0.48	0.01	11,494	▲ 0.7
24年	0.58	0.10	12,494	8.7
25年	0.80	0.22	14,951	19.7

25. 1～3	0.71	0.15	3,644	8.8
4～6	0.71	0.19	3,714	24.0
7～9	0.85	0.26	3,852	25.8
10～12	0.96	0.29	3,741	21.1
26.1～3	1.05	0.34	4,554	25.0

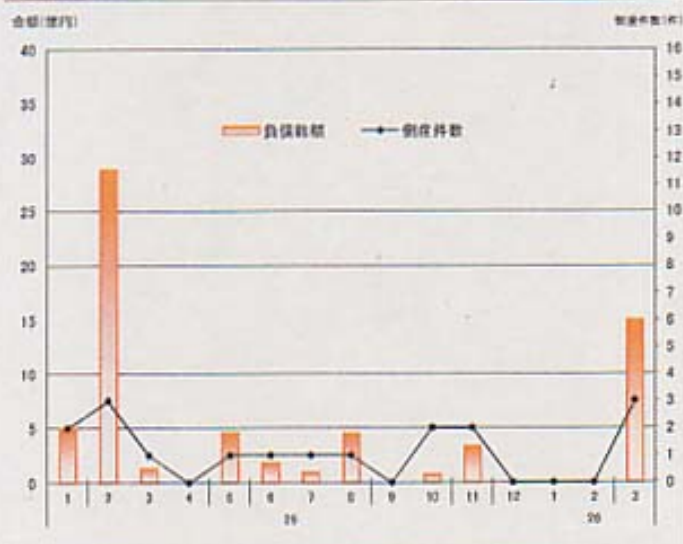
25年10月	0.92	0.24	1,420	11.2
11月	0.97	0.32	1,222	33.3
12月	0.99	0.33	1,099	22.9
26年1月	1.00	0.32	1,430	30.4
2月	1.07	0.34	1,401	19.7
3月	1.09	0.36	1,723	25.1

【企業倒産】

件数、負債総額ともに前年を下回る

企業倒産動向（26年1月～3月）をみると、件数、負債総額ともに前年を下回った。原因別では、「他社倒産の余波」2件、「販売不振」1件であった。

企業倒産



(資料)株式会社エリサーテ

	倒産件数(件)	前年比	負債総額(百万円)	前年比
23年	18	▲ 10.0	4,322	▲ 78.4
24年	24	33.3	9,538	120.7
25年	14	▲ 41.7	5,111	▲ 46.4

25. 1～3	6	▲ 40.0	3,522	2.4
4～6	2	▲ 50.0	640	14.9
7～9	2	▲ 66.7	545	▲ 59.8
10～12	4	0.0	404	▲ 90.3
26.1～3	3	▲ 50.0	1,502	▲ 57.4

25年10月	2	0.0	73	▲ 59.0
11月	2	100.0	331	451.7
12月	0	皆減	0	皆減
26年1月	0	皆減	0	皆減
2月	0	皆減	0	皆減
3月	3	200.0	1,502	1055.4
4月	5	皆増	5,377	皆増

＝利用に当たっての注意＝

・数字の単位未満は原則として四捨五入としているため、合計と内訳の計、表中記載の前年比と表上での算出前年比が一致しない場合がある。
 ・本指標は本レポート発行時に公表されているデータを基に作成しており、原則としてその後のデータ提供先による修正を反映していない。